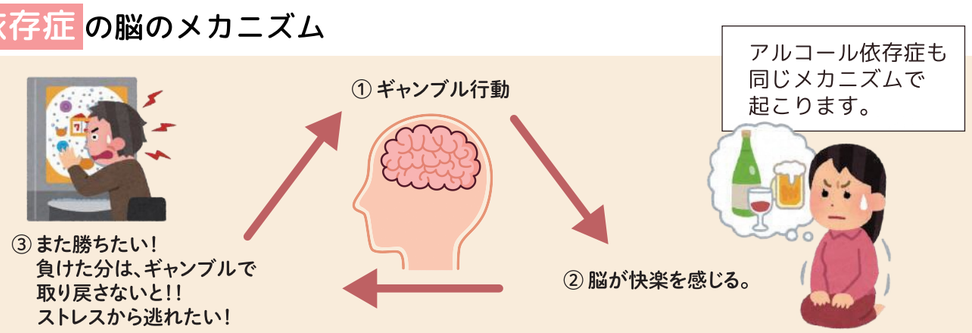
5月14日～20日はギャンブル等依存症問題啓発週間です。

「もしかして依存症かも…」　相談できる場所があります。

ギャンブル等依存症とは

日常生活に支障をきたしているにも関わらず、ギャンブル等にのめり込み、やめたくてもやめられなくなる状態に陥ることをギャンブル等依存症と言います。
依存症は自身の意志では、行動をコントロールできなくなる脳の病気です。

依存症の脳のメカニズム



抱え込まず、まずはご相談ください。

依存症の相談窓口

● 佐世保市障がい福祉課

電話や面接にて、ご本人・ご家族・支援者からの相談をお受けしております。
匿名でも大丈夫です。お気軽にご相談ください。

☎ 0956-24-1111（代表）

ギャンブル等依存症の自助グループ

● GA佐世保
（ギャンブル依存症の方の自助グループ）

● ギャマノン結～ゆい～佐世保
（ギャンブル依存症の家族のための自助グループ）

場 所　させぼ市民活動交流プラザ（戸尾町）

日 時　毎週水曜日　19：00～

アルコール依存症の自助グループ

● 断酒会

場 所　佐世保市中央保健福祉センター

日 時　毎月第2・第4火曜日 13：30～

● 断酒会

場 所　させぼ市民活動交流プラザ（戸尾町）

日 時　毎月第1土曜日 19：00～
毎月第3日曜日 13：30～

● AAミーティングin早岐

場 所　早岐地区コミュニティセンター

日 時　毎月第2・第4日曜日 15：00～

～　毎年４月２日～８日は発達障がい啓発週間です　～

障がい福祉だより
vol.14　2025年4月特集号

〒857-0042 佐世保市高砂町５−１
佐世保市保健福祉部障がい福祉課
☎ 0956-24-1111（代表）　FAX 0956-25-2281
http://www.city.sasebo.lg.jp/　syogai@city.sasebo.lg.jp

vol.14 障がい福祉だより

佐世保市の障がい福祉のとりくみについてご紹介します。

手話で話そう

デフリンピックを知っていますか？



みんなで一緒に応援しよう！



手話動画

デフリンピックで開かれる競技の手話を動画に掲載しています。
こちらの二次元コードを読み取って手話を覚えてみましょう♪

デフリンピックを知っていますか？

デフリンピックとは、デフ＋オリンピックのことです。デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「きこえない、きこえにくい人のためのオリンピック」です。

今年 2025 年 11 月 15 日から 26 日の 12 日間、東京を中心に「東京 2025 デフリンピック」が開催されます。日本では初めての開催であり、1924 年にパリで第 1 回目が開催されてから、100 周年の記念大会になります。パラリンピックより古い歴史をもっています。

デフリンピックのルールは、ほぼオリンピックと同じです。ただ、デフリンピックでは、「耳」がきこえなくても、参加者が不利にならないよう「目」でわかる様々な工夫がされています。目でおぎなう「視覚保障」がされているのです。

例えば 100 メートル走のスタートの出発音。光がピカッと光る『フラッシュランプ』でスタートを知らせます。『フラッシュランプ』はバスケットボールやハンドボールなど、様々なスポーツでも活用されています。他にもサッカーやラグビーなど、審判の笛の合図ですが、審判は笛を鳴らすとともに、旗をあげたり手をあげたりして選手に知らせます。選手が「目」でわかるように様々な工夫が整えられています。

東京に 70 ～ 80 の国と地域から約 6000 人のきこえない選手と役員スタッフが集まります。

東京での開催になりますが、みなさんも応援してみませんか？

ICSD ロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。

東京2025デフリンピック大会エンブレム

4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。

2007年12月の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議されました。日本でも、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日までの1週間を「発達障がい啓発週間」として広く啓発する活動を行い、佐世保市でも啓発週間に合わせてブルーライト点灯や映画観賞会などの啓発活動を行っています。

発達障がいの方々が個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには早い段階からの気づきと適切なサポート、そして発達障がいに対する私たちの一人一人の理解が必要です。皆さんも、世界自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間をきっかけに、自閉症をはじめとする発達障がいについての知識・理解を深めてみませんか。相談先：障がい福祉課

発達障がいデイケア

保健所デイケア活動として取り組んでいます。自分自身の発達の凸凹を１年間のプログラムを通じて理解することが目的の会です。グループ活動でのコミュニケーションの練習やワークシートを活用して、人間関係のスキルアップを目指します。参加に関するお問い合わせ：障がい福祉課



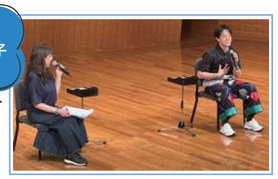
今年は映画上映会を開催！

内容：映画上映会「だってしょうがない」
開催日：令和7年4月5日（土）
場所：アルカスSASEBO　イベントホール



バンド演奏やマルシェ等も開催予定

昨年の様子





期間中「癒し・希望・平穏」を表すシンボルカラーの青色で佐世保港周辺のライトアップを行っています。

ひとりで悩んでいませんか？　～長崎いのちの電話～

社会福祉法人「長崎いのちの電話」は誰にも相談することができずひとりで悩んでいるひとのための電話相談窓口です。名前をいう必要はなく、秘密も守られます。
下記の日時でご利用いただけます。通話料は有料となります。

長崎いのちの電話（相談用番号）
☎ 095-842-4343
- 毎日午前9時から午後10時
- 毎月第1・3土曜日午前9時から翌日午前9時（24時間体制）



いのちの電話フリーダイヤル
☎ 0120-783-556
下記の日時で通話料無料でご利用いただけます。
- 毎日午後4時から午後9時
- 毎月10日午前8時から翌日午前8時（24時間体制）

相談ボランティア募集中！！

いのちの電話の相談員はボランティアとして、いのちの電話を第一線で支えている存在です。社会福祉法人「長崎いのちの電話」では、相談ボランティアを募集しています。相談員になるためには所定の手続きや講座を受ける必要があります。詳細は事務局までお問い合わせください。

社会福祉法人長崎いのちの電話 事務局　☎ 095-843-4410　✉ ngsk-inoden@space.ocn.ne.jp

「SASEBO未来ふくしプロジェクト」のイベントを実施しました。

令和6年10月26日に相浦地区コミュニティセンターにおいて、４つの協議会合同による「SASEBO未来ふくしプロジェクト」が初めて開催されました。
このイベントは「障がい福祉」のことを知っていただくこと、障がいのある子どもが大人へ成長していく過程で受けられるサービス等を紹介することを目的としたものです。











当日は事業所のガイダンスやパネルディスカッション、障がい児の保護者による療育体験のトークセッション、マルシェや事業所で実際に行っている焼き菓子の袋詰め体験や小物制作等のワークショップ、相談支援事業所による相談会、それぞれのコーナーを回るスタンプラリーを実施し、たくさんの方がお越しになり盛況のうちに終わりました。
今後イベント等を開催する場合は各協会のホームページ・SNS等で情報発信します。
次回開催をお楽しみに！

協　議　会　の　ご　紹　介

● 佐世保地区障がい者就労支援協議会
ネットワーク構築や啓発活動、研修・販売会の開催、共同受注窓口を通じ、障がいのある方が自立し、いきいきと働ける社会を目指しています。
ホームページ：sasebo-kyogikai.org

● こどもふくし協議会
佐世保市内の障がい児通所支援事業所の連携を強化し、職員の支援の質の向上や福祉政策提言を通じて、障がい児童とその家族が安心して生活できる環境を目指しています。
ホームページ：kodomo-fukushi-k.sakura.ne.jp

● 生活介護連絡協議会
令和3年1月に発足し、各施設が支援技術の質の向上のために活用できる研修会を企画しています。
また高校や専門学校等で福祉学習・研修を行いながら、啓発活動に努めています。

● させぼ地区相談支援連絡会
障がいがある方のニーズや置かれている状況をご本人と一緒に考え、様々な視点から地域で自立した生活を支える支援をするため、研修や情報交換を通して相談支援技術の質の向上に取り組んでいます。

「ゆみはり会」を紹介します。

「ゆみはり会」とは、精神にハンディ（主に統合失調症）を持つ人の家族の集まりです。
ゆみはり会は「支え合い、学び合い、働きかける」をモットーに家族が安らぐ場を大切に育てていく活動をしています。

一人で悩みを抱えこんでいませんか？一緒に元気な心を保っていきませんか？
さまざまな思いを抱えていらっしゃるご家族の方々、ともに語り合いましょう。

例会　毎月第３土曜日　13：00～（変更の場合もあります）

連絡先　ゆみはり会事務局　☎ 080-7892-7607

例会のほかにも、学習会や催しを開催していますので、お気軽にゆみはり会事務局へおたずねください。

